新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望書

◆県立高校入試に関する情報の早期提供について

1. 令和3年度入試に関する情報(募集定員、日程、実施方法など)の早期提供を求めます。
2. 入試シーズンに第2波・第3波が発生したことを想定し、感染等で受験(検)できなかった場合の救済措置や、入院・隔離施設先での受験(検)実施、各中学校での受験(検)実施など、検討・具体化を求めます。
3. オープンスクールは、オンラインのみではなく、リアル(実際に登校しての体験)開催を求めます。
4. これらの情報に関し、県教育委員会ホームページ上にFAQ(よくある質問とそれへの回答)を掲載するとともに、保護者に周知徹底することを求めます。

◆学校における環境整備について

1. 感染拡大に伴う休校措置や、学習の遅れを取り戻すための補講実施などは、児童・生徒の声に耳を傾け、地域の実情や子どもの実態に合わせた柔軟な対応を求めます。また、地域によって学力の格差が生じないように、困難な地域への支援を求めます。
2. 進路選択を控えた中学3年生と小学6年生の科目履修に遅れが生じないように対応を求めます。
3. 参観自粛などで保護者が学校に行く機会が減っており、小学1年や中学1年の保護者を中心に「学校の様子をもっと知りたい」との声があがっています。こうした声に応えた取り組みを求めます。
4. 夏季休業の短縮や8月の補講などで、児童・生徒が炎天下を登下校します。熱中症予防に必要な資機材を配置するなど、熱中症対策と感染防止を同時に進めることを求めます。
5. 消毒作業や課題作成など感染防止の対応で教師の負担が増えており、教員加配は急務です。教室で3密を避けるためにも、また、学習の遅れに十分対応するためにも、教員を大幅に増やし少人数学級を実現することを求めます。

以上、格段のご配慮を戴きますようお願い致します。